TKCコラム・・・【ゼウスの戯言】(2025 年 09 月 30 日)

タイトル～【１２月のパチンコ】～多角的視野による新機種導入は！？

2025年も【12月商戦】の話題に突入し、ホール側もメーカー側もドタバタ・ガヤガヤしている今日この頃です(汗。
そして話題のテーマは、【パチンコ新機種の動向・評価】が中心となっている模様で、そのリリース(販売)される合計台数も、『ザッと10万台規模に届く様な勢い！？』・・・かと思われます。
ホール様におかれましては、様々な「機種評価」、その結果の「機種選択」される事となりますが、そんな中において、ちょっと多角的視野に基づいて、機種評価を考えてみたいと思います。

■12月の「新台入替」と言う戦略の重要性

それを考える上で、一つのデータをご覧頂きたいと思います。(※TKC調べ)
各項目の実数値は各々の店舗で異なると思いますので、割愛させて頂きますが、年間の「アウト」と「台粗利」の推移として確認して頂きたく思います。

≪直近8月の数値を「100」とした場合の【月毎の推移】(2024年＆2025年)≫

	パチンコ・4円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	アウト推移	104.9%	102.9%	94.9%	91.7%	91.2%	88.4%	92.0%	100.0%	92.0%	84.4%	82.3%	86.0%
	台粗利推移	100.8%	96.7%	89.2%	86.3%	87.9%	87.1%	90.8%	100.0%	90.8%	82.1%	79.2%	83.3%
2025年	パチンコ・4円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	アウト推移	108.0%	108.2%	102.9%	93.6%	94.4%	89.5%	94.2%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	台粗利推移	103.6%	102.3%	97.3%	89.6%	91.9%	85.5%	90.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	パチンコ・1円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	アウト推移	99.8%	103.3%	99.6%	97.2%	96.6%	95.0%	93.9%	100.0%	96.6%	93.2%	91.3%	88.8%
	台粗利推移	100.0%	99.2%	96.0%	95.2%	95.2%	94.4%	91.1%	100.0%	94.4%	91.1%	88.7%	87.9%
2025年	パチンコ・1円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	アウト推移	97.6%	101.2%	97.9%	95.3%	93.9%	92.7%	89.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	台粗利推移	96.7%	97.5%	94.3%	93.4%	93.4%	91.8%	87.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

≪直近8月の数値を「100」とした場合の【月毎の推移】(2024年＆2025年)≫

	パチスロ・20円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	アウト推移	102.7%	100.7%	95.1%	92.6%	93.8%	91.8%	96.1%	100.0%	92.1%	88.9%	86.8%	90.8%
	台粗利推移	103.9%	95.8%	90.1%	91.5%	94.4%	90.1%	95.4%	100.0%	88.4%	88.4%	85.6%	91.5%
2025年	20円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	アウト推移	100.4%	102.8%	98.0%	96.4%	97.5%	92.3%	92.9%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	台粗利推移	85.6%	99.3%	93.5%	94.2%	98.2%	92.8%	92.4%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	パチスロ・5円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	アウト推移	92.9%	92.9%	91.2%	90.8%	94.5%	92.9%	92.7%	100.0%	95.4%	91.7%	89.8%	87.4%
	台粗利推移	91.7%	92.5%	91.0%	93.2%	95.5%	95.5%	93.2%	100.0%	94.0%	91.7%	91.7%	88.0%
2025年	5円	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	アウト推移	91.8%	94.6%	92.7%	90.7%	93.8%	90.5%	90.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	台粗利推移	91.5%	92.3%	92.3%	88.7%	93.0%	91.5%	90.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

今後の『9月⇒12月の稼働推移がどうなるのか？』をイメージするにあたって、「直近8月の数値」に対しての変化を推測するイメージの表になります。(※今後、この空欄4ヶ月を埋めて行く事になりますね)

要は、直近8月の営業成績から対比して見ると、この先「11月までダウン」し続けて12月に一旦上昇に転じるも、8月の業績には追いつけない・・・と言う現実でしょう。(※それほど「毎年、8月の業績が良い」と言う事になるが)
しかし、その【12月のホール戦略・戦術】は、『結果的に翌年1月の業績に大きく反映される』ものと考えられます。
その上で、【12月のパチンコ】新機種を、多角的に俯瞰してみたいと思います。

■「一極集中」での戦略か？・・・それとも「多様性」への対応か？

9月末現在において、【12月のパチンコ新機種】は、10シリーズ11機種が予定されている。
大きな流れとしては、前半「e北斗の拳11　暴凶星」、後半「e新世紀エヴァンゲリオン17」の流れは、ユーザーも期待するところでしょうし、ホールも対応する事になるでしょう。（※この2機種で7～8万台の供給となる）
しかし、本当に『それだけでいいのか？』『一極集中でいいのか？』を考えてみいたいと思います。

●先ず、『「北斗＆エヴァ」を拒否して良いのか？』
私が評価するならば、（導入台数はホール毎のバランスもあるので一概には言えませんが）少なくとも**『北斗は・・・あるに越したことはない』&『エヴァは・・・導入必須でしょう』**と言う評価になります。
つまり、『拒否は無い』と言う回答に。

●その上で、『他の新機種の導入は、無視して良いのか？』
単純な回答をするならば、**『無いより有った方が良い』**と言う答えになりますね。
ただ、重要な事は「その回答の理由」が重要であり、そこの理解と対応次第では「来年1～2月の業績に影響が出る事になります」から。

■新台入替を【しない影響】をユーザー目線で理解しておくべき。

新台入替は「やらないより、やった方が良い」なんて誰もが分かっている事だけど、その理由は？
理由は単純。『新台を見たい・打ちたいユーザーが沢山いて、その集客効果が大きいから』と言う事になります。

●では逆に、【見てみたい・打ってみたい新機種が無い】場合はどうなのか？
ココの思考が重要で、そのユーザーは『その店に行かない』と判断になり。それはつまりこの時点で、**その店舗は『ユーザーの店舗選択から外れている』**事になります。
決して『何でもある』事が正しい訳では無いし、企業的判断として『コスパを考慮する』事も大事な事である。
しかしそれは、「ホール側の都合」の話であり、ユーザー側からしたら**【選択肢に無い店舗】**と言う結果になる。
それを踏まえた上で、【12月のパチンコリリース機種】を見てみよう。

- **【新登場コンテンツ】**・・・残念ながら1機種も無い。従来シリーズ機の延長線上になる。
- **【出玉強烈系スペック】**・・・「e アズールレーン」「e 地獄少女」「e うしおととら」の3機種が加わる事になる。
- **【甘デジ系】**・・・「PA海物語極ジャパン」「PA野生の王国6」「PAからくりサーカス2」の3機種がある
- **【唯一のライトミドル系】**・・・「e うしおととら」（※「1/150.3」で、出玉性能はミドル同等）

世のパチンコプレーヤーの多くは、『今度の北斗は？エヴァは？』への興味から始まる事でしょう。
しかし世の「4パチプレイヤー」全てが、『1/399 を打てる訳で無い』事は、周知の事実でしょう。
来年の1月（お正月）、『新しいエヴァが見たい』と言うユーザーは、新しいエヴァの設置が無い店には行かない。
でもホールに行ったけど・・・

- **「（満席で）打てるとは限らない」⇒では、何を打つ？**
- **「投資資金が心配」⇒では、何を打つ？**

この時の、【2番手の選択肢】を、新機種で用意するのか？しないのか？

・・・それが、来年1月2月商戦に向けた、【12月機種選択】におけるホールの課題かもしれませんね。

■≪追記≫として、もう一つの心配事がある。

現在状況から、来年のパチンコ営業に対して、更に気を配っておきたい点が、店舗内における**【e機とP機の顧客層の変遷】**と言うか、**【現ユーザーの対応変化】**と言う観点になる。
今後においては、ミドル（マックス？）スペック機の多くは「スマパチにてリリースとなる」事が予想される。
そんな中「パチスロの3年間」の様に、『パチンコのスマート化への移行がスムーズに進んでいくのだろうか？』と言う不安がある。

最近の「ミドルスペック機」におけるの**「ピーク稼働の低さ」・「稼働の短命化」**において、一つは「RUSH後の再遊技率が低い（客帯率が低い）」と言う点においては否定の余地が無い上に、「高い射幸性」やら、「低い確率」やら、「高い投資額」らの問題もあるのかもしれません。
ですがそもそも論として、**『スマパチを受け入れているプレイヤーの数が少ないのではないのか？』**と言う疑問も拭えないのもまた現実では無いでしょうか？

今後、パチンコメーカーとしては**【グループ内の共通枠一本化】**になって行きます。
となると、e機とP機の共通化は不可能であり、必然的に**「スマパチ枠の一本化」**の流れになるでしょう。
よって、ホールとしては「現在のプレイヤーのスマパチへの移行」を、ホール側としても意識した施策も必要になるかもしれません。
そんな事も考えながら、「P機の運用」も一考する時期になったのかもしれませんね（汗。
低貸コーナーへのスマートユニット投入の設備投資も視野に入れれつつ（汗

＜このコラムは、*無料コンテンツ* に該当しております。情報共有可としますが、転載・改ざん等はお控えください＞
＜また、文章・資料等の所有権は、「有限会社トータル・ノウ・コネクションズ」に帰属いたします＞
********** **********
有限会社　トータル・ノウ・コネクションズ
住所：長野県長野市大字小島３２５－３　　TEL：026-256-9677　　FAX：026-256-9688
ホームページ　http://www.tkc-g.jp　　メールアドレス　info@tkc-g.jp
****